



▲ボランティアによるバザーが大盛況

「あつまり・ふれあい・ふくしの輪をつなごう！」をスローガンに日吉町ふれあい福祉まつりが日吉町生涯学習センターで開催され、およそ300人がバザーや模擬店、ステージ発表を楽しみました（日吉町ボランティア連絡協議会主催）。「なんでもだんないショー」と名付けたステージ発表では、クラシックバレエやオカリナ演奏、カラオケなど日吉町のボランティア仲間が、得意分野で趣向を凝らしたプログラムを披露。会場から大きな拍手が送られました。

（3 / 7 第14回日吉町ふれあい福祉まつり）

## 「笑顔いっぱい、なんでもだんない」

## 「やさしさが走るこの街この道路」

4月6日から15日まで全国で一斉に実施される春の交通安全運動に合わせ、南丹・船井交通安全協会主催の「交通安全運動スタート式」を南丹市役所で開催。木村交通安全協会長は「交通事故発生件数、死者数ともに減少傾向にある。さらに交通安全意識の高揚を図り、管内の交通事故減少につなげたい」とあいさつされました。その後、管内一円を交通安全啓発パレードで巡回し、全座席のシートベルトの着用の徹底、飲酒運転の根絶などを呼び掛けました。



▲交通安全を願うパレードが出発

（4 / 6 交通安全運動スタート式）

## 「子どもの成長を喜び、楽しもう」



▲園部高校の生徒が運営などで協力した託児（遊びの広場）

子育てに対する不安は誰もが抱くもの。子どもの成長を喜び、子育てを積極的に楽しもうと「親子のつどいと講演会」を園部公民館で開催。親子の交通・防犯教室や京都府警察音楽隊によるコンサートの後、「日々の中にある大切なこと」について講師の木村まさ子さんが優しく、きれいな言葉で参加者の心に語り掛けられました。参加者から、「託児を利用してじっくりと講演が聞けた」「親子で楽しめ、講演も良かったのに参加者が少なくて残念」などの感想がアンケートに寄せられました。

（3 / 13 南丹市子育て応援「親子のつどいと講演会」）

## 「国際交流を楽しみ親しむカーニバル」

多文化体験を通じて国際交流を楽しむ「なんとにあんKidsカーニバル」を市国際交流協会が初めて企画し、開催されました。参加者は、「なんとにあパスポート」の発行を受け出国。パスポートに出題されたクイズに答えるため、韓国、米国など6カ国のブースを巡り、各国の遊び体験や写真パネルなどで異文化を体感し、ドイツのお菓子「クーヘン」などの世界の味も楽しみました。中井陽希くん（園部小）は「初めてパスポートをもらってすごくうれしかった」と海外旅行の感想を話してくれました。



▲目当てのおやつの前には大行列ができました

（2 / 28 なんとにあんKidsカーニバル）